

年月日

24 06 26

ページ

01

N.O.

三井住友F.L.、1000億円投資

太陽光5割増 120万kW



SMFLみらいパートナーズはアサヒ飲料群馬工場の屋根に太陽光パネルを設置し電力を供給している

内訳は、顧客の敷地
物流施設の屋根などに
太陽光パネルを置く

「オンラインPPA」
で同2倍程度の20万kW
トータル、顧客の敷地外に太
陽光パネルを設置する
「オフサイトPPA」
で同3倍程度の40万kW
を想定する。
三井住友銀行（SM
BC）グループの顧客
網を生かして新規顧客
を開拓する。企業には
初期費用を抑えて再生
エネルギーの電力を購入でき
る。今後、シェアを拡
大することで価格競争
協力し、オフサイトP
PAを拡大してきた。
ス（HD）の子会社と
エストホールディング
PAの総設備容量は
60万kWまで引き上げ
る。

SMLみらいパートナーズは太陽光発電事業への投資を拡大し、国内太陽光発電所の開発を加速する。大型太陽光発電所（メガソーラー）の開発に特に注力するのが、

SMFLみらいパートナーズ（SML）は2024～25年度の2年間で、太陽光発電所の新規開発や建設、取得などに1,000億円規模の投資を実行する。傘下のSMFLみらいパートナーズ（東京都千代田区）が国内太陽光発電所の総設備容量を25年度末に23年度末比1・5倍の1,200万kWに引き上げる。カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の潮流が広がる中、企業の再生可能エネルギーの需要を取り込む。

PPAに軸足

特定の顧客に太陽光パネルで発電した電気を長期にわたって一定価格で直接販売するPPA（電力販売契約）モデル。25年度末に同モデルの総設備容量を元の約2・5倍となる60万kWまで引き上げる。